

I 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況

(1) 高等専門学校名

大島商船高等専門学校

(2) 所在地

山口県大島郡周防大島町

(3) 学科等構成

○ 準学士課程

商船学科, 電子機械工学科, 情報工学科

○ 専攻科課程

海洋交通システム学専攻

電子・情報システム工学専攻

(4) 学生数及び教員数 (平成 26 年 5 月 1 日現在)

① 学生数

準学士課程	1	2	3	4	5	実習生	合計
商船学科	43	42	42	43	39	33	242
電子機械工学科	47	39	43	43	41		213
情報工学科	48	39	45	42	38		212
合計	138	120	130	128	118	33	667

専攻科課程	1	2	合計
海洋交通システム学専攻	4	3	7
電子・情報システム工学専攻	13	8	21
合計	17	11	28

② 教員数

区分	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
商船学科	5	4	1	4	0	14
練習船大島丸	0	2	0	2	0	4
電子機械工学科	5	4	1	1	0	11
情報工学科	3	5	0	1	1	10
一般科目	5	6	2	1	0	14
合計	18	21	4	9	1	53

2 特徴

本校は、明治 30 年 10 月、大島郡立大島海員学校として創立され、明治 34 年に山口県立大島商船学校となり、昭和 26 年 4 月に国立大島商船高等学校と改称、昭和 42 年 6 月に国立大島商船高等専門学校となった。その後、平成 16 年 4 月独立行政法人国立高等専門学校機構大島

商船高等専門学校となった。昭和 42 年には、航海学科及び機関学科（2 学科 1 学年 2 クラス、クラス定員 40 名、学年定員 80 名）で発足したが、昭和 44 年機関学科を 2 クラス（1 学年 3 クラス、学年定員 120 名）とした。メカトロニクス分野の発展により昭和 60 年に機関学科の 1 クラスを電子機械工学科に改組し、航海学科、機関学科、電子機械工学科（3 学科 1 学年 3 クラス、学年定員 120 名）となる。さらに船員制度近代化と情報技術の発展に伴い昭和 63 年に航海学科と機関学科を統合して商船学科とし、新たに情報工学科を設立して、商船学科、電子機械工学科、情報工学科（3 学科 1 学年 3 クラス、学年定員 120 名）に改組した。さらに本学における高度な教育の充実を目指して平成 17 年には商船学科を母体とした海洋交通システム学専攻及び電子機械工学科と情報工学科を母体とした電子・情報システム工学専攻の 2 専攻で構成される専攻科が発足した。

準学士課程 5 年間の教育課程において、一般科目を低学年に多く配置、学年が上がるに従って各学科に必要な専門科目を徐々に増やすカリキュラム構成にしている。また各学科とも 1 年生より実験実習を実施しており、職業に必要な能力の育成を行っている。準学士課程では、課程を卒業する学生の約 20%が進学、80%が就職しており、進学先、就職企業先は大半が学科の教育課程に合致した大学等、企業であり、準学士の教育課程が十分機能している。専攻科課程において、海洋交通システム学専攻では、すでに乗船実習を修了した学生が、海上のみならず陸上の国際物流管理業務を担うことができる管理技術者の育成を目指したカリキュラム構成としている。また電子・情報システム工学専攻では、メカトロニクス分野および情報分野における研究開発技術者の育成を目指したカリキュラム構成としている。さらに校内の専攻科の研究発表会等においては学生自身での企画運営を基本とするなど、自ら行動することにより社会人としての自覚を持たせる試みを行っている。平成 25 年 3 月には修了生全員が学位（学士）を取得し、教育課程に合致した大学院へ進学・関連企業へ就職をしていることから、教育課程が十分機能している。